

もっと気軽に利用してみませんか？

# チャリティ・シヨップ

## 100%活用術 PART 2

4月26日号に引き続き、今回はより具体的なチャリティ・シヨップの利用の仕方をお伝えします。ショッピングはもちろん、それ以外にもチャリティ・シヨップの活用方法はいろいろ。チャリティ・シヨップとの楽しいおつきあい、初めてみませんか。

Text&Photo: Mami McGuinness



### チャリティ・シヨップを楽しく活用する

最近では日本でも、イギリスに習ってボランティア団体などがチャリティ・シヨップを運営するところも増えてきました。せっかくチャリティ・シヨップの本場、イギリスにいるのですから、イギリス人たちがしているように、気軽に、そして楽しみながらチャリティ・シヨップを利用しましょう。

### ● 欲しいものを安く手に入れる

チャリティ・シヨップの魅力はなんと言っても、気に入った商品を安く買えるということ。ポットペローマーケットやカムデンパッセージといったアンティークマーケットのストールに並んでいるのと同じものが、割安で売られていた...などというのもよく聞かれます。最近ではeBayなど、インターネットでセカンドハンドの商品を格安で購入できる方法も増えていますが、それでも郵送料を含めた値段を考えれば、同じ商品をチャリティ・シヨップで買った方が、結局は経済的、ということもよくあります(＊)。

また、チャリティ・シヨップでも、イギリスお得意の「3 for 2」や「buy 1 get 1 free」のようなセールを行っているところも多いので、それらうまく利用しましょう。さらに、取材中チャリティ・シヨップの人が教えてくれたところによると、最近では多くの人がDVDを見るようになってきたので、チャリティ・シヨップに持ち込まれる中古のビデオテープの種類は大変豊富なのだそう。「フレンズ」など、人気テレビシリーズ

がセットで安く買える、ということも多くDVDにこだわらない人であれば、チャリティ・シヨップのビデオコーナーは要チェックです。

### ● 不要なものを処分する

(＊) OxfamではeBayを介したチャリティ商品の販売も行っています。たとえば先日、eBay上で、本人から寄付されたという、Kelia Knightleyがオスカーの時に着用したというドレスを販売していました。

不要な物と言いつても、もちろん「ゴミ」にはありません。あくまでも自分ではもう使わないけれど、必要な誰かが使ってくれそうなものを、処分するのにチャリティ・シヨップはとても便利な場所です。もちろん、読み終わってしまった本1冊だけを寄付することだうてできますし、たとえば引越するときなど、つい溜め込んでしまった洋服やCDなどの処分が困ったときは、ぜひチャリティ・シヨップを利用しましょう。ただし、それぞれのチャリティ・シヨップによって、家賃や電化製品などは受け付けられない、などといった規定があるので迷ったときには、品物を持ち込む前に、一度近くのシヨップで引き取ってもらえるかどうかを尋ねてみましょう。

CANCER RESEARCH UKでは、寄付をしつくれる人のために、写真のような袋を配布しています。中には寄付する品物を入れるための「ゴミ袋」が入っています。これにいくつかの品物

「Please take one and help us cure cancer faster」



### 買い物にはマイバッグ持参で

スーパーの買い物でも「マイバッグ持参」が当たり前になりつつある日本に比べ、イギリスでは、盛んとはいえ「マイバッグ」。でも、商品を入れてくれる袋にも経費がかかっており、皆がマイバッグを持参することができるのです。「チャリティ」とか「ボランティア」とか堅苦しく考える前にまず、チャリティ・シヨップに行くときだけでなく、買い物には「マイバッグ持参」... がクセにしたいですね。

### 食器類などを買うときには

陶器、磁器、ガラスなどの食器類を買うときには、その器の上部(口元)の縁と底部の縁に指を当て、そっと指を一周させましょう。そのとき、何かひっかかりがあるようなら、目には見えなくても、欠けている場合があります。また、カップなどの場合には、片方の指でカップの底部を支え、カップを軽く指先でたたき、鈍い音がしないか確かめます。時々欠けのあるものや、ひび割れがあるものも混ざっているので、注意が必要です。

## ボランティアの声

「たまたま前の仕事をやめたこともあり、今が人生の中で、ボランティアとして働きながら経験を積むチャンスだと思い、この仕事に就きました。お店を通りかかったときに申し込んで、3ヶ月前からここでボランティアをしています。今はOxfamのインターンシップで、ショップマネージメントなどをボランティアを通じて学んでいます。ここでは、接客だけでなく、店内ディスプレイなど、自分がやりたいと思うことはどんどんチャレンジするチャンスを与えてくれるので、自分のキャリアアップにも役立つと思います。もう一つ別のチャリティ組織でもボランティアをしています。ボランティアを通じて学ぶことは本当に多いですね」



New Bond StreetのOxfamでボランティアとして働く Yasemin Ertarkanさん

が寄付されると、約30ポンドほどのお金でガン研究のために使えることになるのだそう。もちろん、品物を寄付する際には、この袋を使わずに、自分の家にある紙袋やビニール袋に入れてもまったく問題ありません。大切なのは、寄付をする品物は、なるべくきれいな状態にして、また、できれば本は洋服は洋服、といった具合に整理をして渡してあげる、ということ。

Oxfamでは「Sorted」というキャッチフレーズのもと、寄付してくれる物は、壊れたりしていない、お客さんに売ることができないものにしていただき、と呼びかけています。実際、今回見せてもらったOxfamの店舗の作業場では、人々から寄付されたものの、壊れていたり、汚れていたりして、お店で販売できないものが山のように積まれています。そしてそれらの「ゴミ」を処分するためにOxfamでは年間約100万ポンドもの経費がかかっているのだそうです。「ゴミ」処分にお金をかけるよりは、その経費をチャリティに使える方がいいに決まっていますよね。だからこそ、私たちもチャリティ・シヨップに寄付をするときは「Sorted」を心がけましょう。

### ● ボランティアとインターンシップの違い

ほとんどのシヨップでは、常時、ボランティアを受け入れています。シヨップによって応募方法はいろいろですが、興味のある方は、まずはシヨップのスタッフに聞いてみましょう。だいたいは簡単なインタビューがあり、時間等の条件があれば、ボランティアとして働くことができます。ボランティアの仕事は、お客さんに対面しての店内販売だけでなく、バックヤードで、寄付された品物をスチーマーを使ってきれいにしたり、値札をつけたり、といった作業や、店内に品物を並べたり、ウインドディスプレイをしたりと様々です。

例えば、ビザの関係で仕事に就くことができないけれど、何らかの形で社会参加したい、という方にとっては、チャリティ・シヨップでのボランティアはよい機会になるでしょう。また、就職をしたいけれど、イギリスでの労働経験がなく、職を得るのが難しいという人にとっては、チャリティ・シヨップでボランティアをする中で経験を積み、その後の仕事を認められれば、その後、求職の際に必要なreferenceを書いてもらえる、ということも可能になり、キャリアアップのチャンスも広がるかもしれません。

英語を学びたい人にとっても、国際色豊かな仲間と話すチャンスのあるチャリティ・シヨップのボランティアは有効です。ボランティアの中にはリタイアした人たちも多くいるので、普段はなかなか接することのない世代のイギリス人から、イギリス歴史などの話を聞くことだってできるかもしれません。

さて、「チャリティ」とか「ボランティア」といって、いつい難しくて考えてしまいがちな私たち日本人ですが、チャリティ・シヨップという場所は、それらをもっと気軽に身近なものに感じさせてくれるのではないのでしょうか。チャリティ・シヨップで買い物すること自体がボランティア。まずは少し時間がある時に、ぶらりと近くのチャリティ・シヨップに出かけてみてはいかがでしょうか？

**詩の朗読会など独自のイベント企画もあり  
Oxfam Books&Music**

本とCD、レコードを専門に扱うこのショップは、おしゃれなお店が立ち並ぶマリルボーンハイストリートにあつて、それらのお店にひけをとらない店構え。詩の朗読会などを独自に催していて、著名な詩人も朗読会に参加したり、ショップで詩集を販売したり(売り上げ金はもちろん寄付)と、チャリティに参加しています。児童書コーナーや、ペーパーバックなども充実。イベント情報などはホームページでチェックを。



9 Marylebone High Street,  
London  
Tel:020 7487 3570  
www.oxfammarylebone.co.uk  
オープン時間:10:00-6:00  
(月-水、土)  
10:00-19:00(木、金)  
11:00-18:00(日)

**金曜の朝には行列のできる店  
Westbourne Grove Oxfam**



土地柄ゆえか、販売されている商品に高級ブランド品が多いということで有名なショップ。お店の人によると、値札のついたまま、未着用のドルチェ & ガッバーナのシャツが寄付されていた、などということもあるとか。それ

らブランド品目当てのお客さんも多いため、特に人気の高い商品は、1週間、ショウウィンドウに価格表とともに展示し、金曜の朝10時から早い者勝ちで販売する、という方式をとっているそうです。

245 Westbourne Grove  
London  
Tel:020 7229 5000  
www.oxfam.org  
オープン時間:10:00-18:00(月-土)  
定休日:日



**思わぬ掘り出し物に出会える可能性大!  
St.John's Hospice**

取材中、近所に住むアンティークディーラーだという女性が近づいてきて耳打ちしました。「この値付けは、他に比べて安い。すごくお得なのよ」と。実はその情報、やはり地元に住む別の人からも聞いていたのです。このお店では、ロイヤルドルトン等、陶磁器ブランドの20数ピースの食器セットが破格の安さで売られていることもしばしば。ブランドものの陶磁器に興味のある方は、足繁く通う価値有り、のショップです。



86 St.John's Wood High Street,  
London  
Tel:020 7449 9791  
www.stjohnshospice.org.uk  
オープン時間:10:00-17:00(月-金)  
12:00-17:00(土、日)

**ウエディングドレスだって購入できます  
Cancer Reserch UK**



Oxfamと同様、多くの支店を持つCANCER RESERCH UKですが、同じロンドン内でも、市の中心部から少し離れた店舗の方が、若干品物の値段が安いとの噂通り、このお店でも、ものによってはロンドン西部の高級住宅

地エリアよりお手頃価格で購入できます。また、ウエディングドレスなど、フォーマルウェアなども取り扱っています。こういうものをチャリティ・ショップで調達するというのも、イギリスならではの？

135 Lewisham High Street,  
London  
Tel: 020 8463 0179  
www.cancerresearchuk.org/  
shopping/  
オープン時間:9:00-17:00(月-土)  
定休日:日



**高級メンズウェアが揃うおしゃれなショップ  
Bond Street Oxfam**



高級ブランドショップが立ち並ぶNew Bond Streetに、今年の2月にオープンした、メンズウェア専門のショップ。近隣のショップにひけをとらないおしゃれな店内には、グッチやラルフローレンといったブランドもののス

ーツやシャツ、ネクタイなどが並んでいます。売られている商品は当然すべて人々の寄付ですが、この店舗のリース(18ヶ月分)も、ある人物の寄付によって実現したのだそうです。一部本やCDなどもあり。

71 New Bond Street,  
London  
Tel:020 7493 5123  
www.oxfam.org  
オープン時間:10:30-18:00(月-金)  
10:30-17:30(土)  
定休日:日



おすすめ  
チャリティ  
ショップ5軒